

平成28年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 地域における建物の防火安全性の向上事業
 所属名(団体名) 消防局予防部予防課

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選 定理由を明確にしましたか。	5	課題解決型提案事業として公募した。
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい 団体でしたか。		
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	5	地域の防火安全性を向上させるため、実施結 果の毎月の報告等により、事業の方向性を共有 することができた。
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	4	当該地域との繋がりができた。また、消防法 令違反の改善だけでなく、火災予防行政の現状 を当該地域内に広く理解してもらうことができ た。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事 項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	5	当該地域の関係者と連絡を密にし、柔軟に対 応できた。
総合コメント 当該事業を実施したことにより、地域における建物の防火安全性の向上及び火災予防の普及啓発が図られた。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支 援・補助)は適切でしたか。	5	当該地域の関係者が自ら防火意識を持ち、建物 内部から消防法令を遵守するという気運を作り出 すことができ、委託事業として適切であった。
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。		
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしまし たか。	5	協定書により協働の必要やそれぞれの役割分担 を明確にできた。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	5	消防局と商店街がそれぞれ役割分担しながら取 り組むことができた。
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	5	協定書の作成段階で分担が明確になっていたた め、役割分担や責任の所在は明確であった。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次 的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につ ながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つ かった等	4	当該地域における消防法令違反(防火管理者選 任違反率、消防用設備等点検報告違反率)が改善 されたため、概ね評価できる。
総合コメント 商店街が地域ぐるみで消防と連携して、建物の防火安全性の向上に取り組むという試みは、これまでの一方的な火災予 防行政の進み方と比較すると画期的な事業であり、全国的にも珍しい取り組みです。事業を継続することで、より一層地 域の連携が深まり、地域における防火安全性の向上に繋がる事業であったと考えます。		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。※振返り結果は 1(評価が低い) → 5(評価が高い)の基準で記入してください。